

ROUKEN 23

KUMAMOTO

ろうけん熊本

2025



第24回 九州ブロック
介護老人保健施設大会
with熊本

大会を終えて②
基調講演・特別講演・シンポジウム③
分科会【実技演題】④【一般演題】⑤

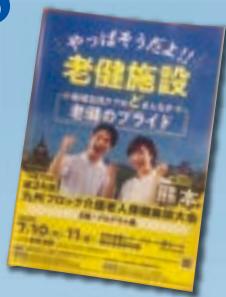
令和6年度 熊本県老人保健施設大会⑥

令和6年度 熊本県老人保健施設協会中堅・主任者職員研修会⑧

令和7年度 新人職員研修会⑨

役員名簿／3委員会委員名簿／新役員ごあいさつ⑩

熊本県老人保健施設一覧⑪ お知らせ・編集後記⑫



第24回九州ブロック介護老人保健施設大会を終えて

熊本県老人保健施設協会 会長 金澤 知徳



本年7月10日、11日に九州ブロック介護老人保健施設大会with熊本を開催して、早いもので4か月、暑かった夏も終わりヒヤツと秋となりました。皆さん元気に老健していますか。老健するとは、仲間と共に活動することです、安心して生きていける地域を紡ぐことです。医療と介護をつなぎ、在宅生活を支援して行きましょう。

さて、昨年から準備を進め皆で臨んだ本大会を少し振り返ってみましょう。幾つかこだわったことがあります。先ず、「老健大会with熊本」ではなく「with熊本」としまして。確かに開催地に行くこと準備

既存のパッケージからの脱却といえば大袈裟ですが、いろいろ工夫することに視点を定め、変容していく自分たちの可能性に期待を抱くことができれば自分として大会への興味が増し、手作り感のある協働体験を皆で楽しめたのかなと思います。もちろんロールプレイ型発表の様な新しい試みは、もうあります。ともつとも願うこともありましたが、十分にきつかけ作りになりました。

また、「テキトー」を意識しました。ナチュラルです。ともするとリーダーシップはリードするあまり結論まで行ってしまいます。リーダーの声に従つて動いてしまう姿には快活さを感じられず、魅力的ではありませんね。今大会ではできるだけ出番を作り、多くのリーダーが生まれました。根拠が不十分

1日目の夜は懇親会が開催されました。
懇親会にて

2日目は、老健施設の現状と課題をテーマにシンポジウムが開かれました。冒頭では2040年問題を踏まえ、地域医療構想や人材確保の重要性が指摘されました。登壇者からは、精神科併設型老健の実情やBPSDへの対応、地域資源不足の課題が共有され、老健施設が在宅復帰・地域包括ケアの中核として果たす役割の大きさが強調され、聴講者が深くうなづく姿も印象的でした。

シンポジスト

山田 章平 氏 (厚生労働省保険局 医療介護連携政策課長)
木脇 弘二 氏 (熊本県健康福祉部医監)
田川 雅浩 氏 (長崎県老人保健施設協会会長)
田中 素美 (熊本県老人保健施設協会副会長)
金澤 知徳 (熊本県老人保健施設協会会長)

やっぱそうだよ!!老健施設 地域包括ケアのどまんなか老健のプライド

第24回九州ブロック介護老人保健施設大会with熊本

令和7年7月10日(木)・11日(金)の2日間にわたり本大会が開催され、延べ921名の参加がありました。メイン会場では、私たちが元気を分かち合う思いを込めて作曲した歌を流し、華やかに幕を開けました。

山田課長は冒頭、「2040年に65~85歳人口が急増し、働き手の減少や地域差の拡大が一層深刻化すると見込まれています」と述べ、将来の社会構造の変化が医療・介護分野に及ぼす影響を指摘しました。続いて、診療報酬や介護報酬の制約の中でも賃金改善や人材確保を進める必要性を強調。地域で暮らすを支える在宅支援の強化が欠かせず、「在宅復帰や地域での暮らしを支える老健施設ほど2040年に適した存在はない」と述べ、老健施設の役割の重要性を改めて強調しました。

特別講演

老健施設の現状と今後の在り方

講師: 全国老人保健施設協会会長 東 憲太郎 氏



トピック

第1部では研修企画委員長の當利賢一により熊本県内老健施設を対象としたアンケート結果が報告されました。在宅復帰支援や医療機関との連携、地域活動など施設ごとの多様な取り組みが明らかとなりました。

1日目の夜は懇親会が開催されました。



基調講演



第2部 ディスカッション

シンポジウム
「やっぱそうだよ 老健施設」

2日目は、老健施設の現状と課題をテーマにシンポジウムが開かれました。冒頭では2040年問題を踏まえ、地域医療構想や人材確保の重要性が指摘されました。登壇者からは、精神科併設型老健の実情やBPSDへの対応、地域資源不足の課題が共有され、老健施設が在宅復帰・地域包括ケアの中核として果たす役割の大きさが強調され、聴講者が深くうなづく姿も印象的でした。



すること発表を体験することは大切です、それを思えば「in熊本」でしょう。そこでさらに、何かを感じ何かを見出して自分たちの日常に活かすことができる関係作りが生まれれば素晴らしいなあと思想で「with熊本」としました。大会で知り合った人々との交わりが今後も続くことを願っています。次に、大会運営の随所にDIYを意識しました。既存のパッケージからの脱却といえば大袈裟ですが、いろいろ工夫することに視点を定め、変容していく自分たちの可能性に期待を抱くことができれば自分として大会への興味が増し、手作り感のある協働体験を皆で楽しめたのかなと思います。もちろんロールプレイ型発表の様な新しい試みは、もうあります。ともつとも願うこともありましたが、十分にきつかけ作りになりました。

また、「テキトー」を意識しました。ナチュラルです。ともするとリーダーシップはリードするあまり結論まで行ってしまいます。リーダーの声に従つて動いてしまう姿には快活さを感じられず、魅力的ではありませんね。今大会ではできるだけ出番を作り、多くのリーダーが生まれました。根拠が不十分

懇親会もDIYでしたね。「with熊本」でしたね。テキトーでしたね。最高におもしろかったです。私自身も200%楽しませていただきました。さて、最後になりますが、今大会を振り返れば沢山の感謝があります。そして今大会の運営に携わった皆さんの情熱が参加者の皆さんに届き、九州各地それぞれの老健施設に止まらず多くの職員たちがとうございました。

ありがとうございました。8年後の皆様、よろしくおねがいいたします。

分でも思い付きの発言、話し合いの中で修正できる自由な発言。それぞれの考えが徐々にまとまって来てチームが誕生しました。最初は「テキトー」がいいのですね。それにしても大会2日間にわたり県内会員施設から駆け付けた100名を超す大会ボランティアを見れば、それを成し得た実行委員チームの一丸となつた熱意が伝わったのだなと強く感じました。

懇親会もDIYでしたね。「with熊本」でしたね。私自身も200%楽しませていただきました。さて、最後になりますが、今大会を振り返れば沢山の感謝があります。そして今大会の運営に携わった皆さんの情熱が参加者の皆さんに届き、九州各地それぞれの老健施設に止まらず多くの職員たちがとうございました。

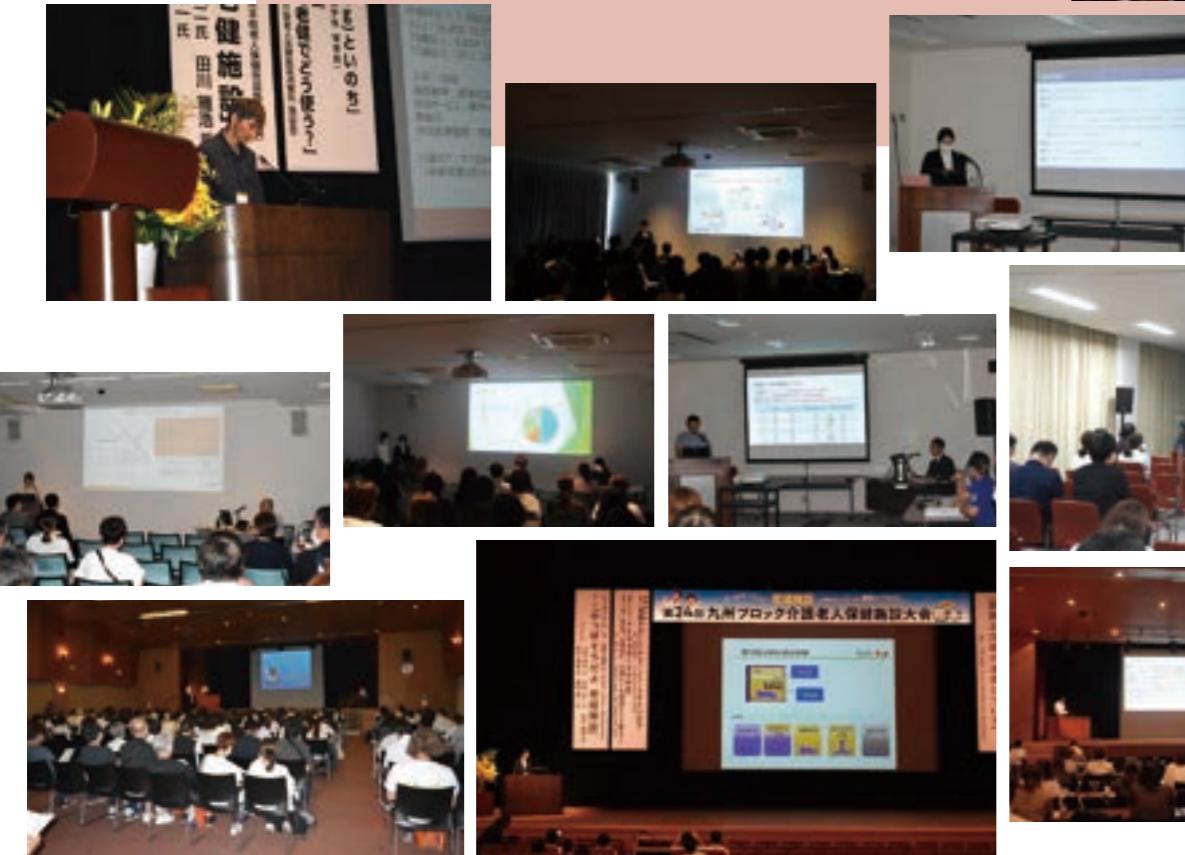
ありがとうございました。8年後の皆様、よろしくおねがいいたします。

分科会

100を超える団体が7つの会場に分かれ、それぞれの会場で、地域の特色や専門分野を生かした多彩な内容の発表が行われました。

一般演題

一般演題では、介護の現場で日々取り組まれている創意工夫や努力の数々が発表を通して伝えられました。



第24回九州ブロック介護老人保健施設大会with熊本の感想・振り返り

2年前から準備を始め、度重なる打ち合わせや挨拶回りを経て、やっとの思いで迎えた当日でした。あつという間の、感慨深い2日間でした。会員施設の皆さんには協賛依頼やスタッフ動員等で大変ご負担をおかけしましたが、県老健の結束力、底力を見せることが出来たのではないかと思います。ご協力に心より感謝申し上げます。

会場・式典・展示部会長 西田 剛

第24回九州老健大会with熊本が盛況のうちに終了しました。学術部会責任者として講演や演題の調整に携わり、多彩な発表と活発な交流を通じて、老健の可能性と未来を実感できる貴重な機会となりました。実技演題など新たな試みも加わり、学びと刺激に満ちた2日間となりました。ご協力・ご参加いただいた皆さんに心より感謝申し上げます。

学術部会 畠利 賢一

第24回九州ブロック介護老人保健施設with熊本大会を終えて、広報部会活動に携わって熊本大会の活動準備状況等をもっとSNSやAI等を駆使して発信出来ればと悔やますが、懇親会は金澤会長の発想・アイデアにも助けられ各県の参加者から「これまでの懇親会の中で一番楽しめました」との声に安堵しました。本大会の成功には各老健スタッフの一致団結によるものと感謝申し上げます。

広報部会 後藤 健

実技演題

今回初めて実施された「実技演題」では、10施設が実技を交えて発表し、動画などを用いた工夫を凝らした演出が注目を集めました。

様々な環境・条件と利用者のニーズをもとに集団活動を行う事について
～音楽療法士の視点からの考察～

熊本県
介護老人保健施設
フォレスト熊本

認知症ケア・その他



西の果てから発信!!
～ノーリフティングケアって当たり前～

長崎県
介護老人保健施設
リハビリセンター ふくえ

全般的なケア、食事・栄養口腔ケア



QOLを高める農的活動
～「できる」を引き出す農福連携～

熊本県
介護老人保健施設 平成唯仁館

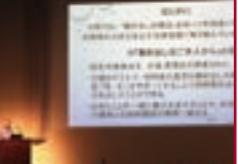
認知症ケア・その他



ひとりで寝れました!
～「動き出しへ本人から」に取り組んで～

熊本県
介護老人保健施設 聖ルカ苑

全般的なケア、食事・栄養口腔ケア



アクティビティ・ケアから考える認知症ケアの可能性
～施設における五感刺激を活かしたリラクスプログラム実践モデルの導入～

熊本県
介護老人保健施設
おおかの郷

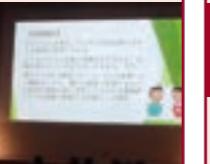
認知症ケア・その他



働きやすい職場づくりが生産性向上につながった
～職員の身体的負担・心理的不安の軽減から～

熊本県
介護老人保健施設 ほんごう苑

業務改善・環境改善・効率化



ADLとACPIに関する施設内外との情報共有の試み
～くまもとメディカルネットワーク(KMN)の活用 第1報～

熊本県
介護老人保健施設 青翔苑

ICT関連(介護ロボット・AI等)、
在宅復帰・地域支援



ひむか苑における生産性向上の取り組み
～人材の確保と定着を目指して～

宮崎県
介護老人保健施設 ひむか苑

業務改善・環境改善・効率化



当施設インスタグラム活用の実践
～利用者が輝く・職員が育つ・地域とつながる～

熊本県
訪問リハビリテーションセンター
清雅苑

ICT関連(介護ロボット・AI等)、
在宅復帰・地域支援



展示ブース紹介

令和6年度 熊本県老人保健施設大会 開催

令和7年3月5日(水)
熊本県医師会館

令和6年度 熊本県老人保健施設大会



開会の挨拶では、金澤会長が昭和62年に老人保健施設モデル事業のスタートに合わせて設立された「老人保健施設連絡協議会」の活動や目的について触れました。時代の移り変わりの中で、老健で働く人たちが知識を深め、疑問を解決しながら、よりよい「ろうけん」の姿を摸索し続けてきたことに触れ、その意義を強調。「本日も共に学び合いましょう」と呼びかけました。来賓として出席した県健康福祉部長寿社会局の篠田氏は、「分科会発表に至るまでは、さまざまな試行錯誤があつたはずです。そのプロセスを伺えるのを楽しみにしています」と挨拶。熊本市健康福祉局高齢者支援部の濱洲氏は、「こうした情報共有こそが活用につながり、保健福祉の発展にも寄与します」とのメッセージを述べられました。



特別講演

熊本市健康福祉局
高齢者支援部 部長
濱洲 紀子 氏

県健康福祉部
長寿社会局 局長
篠田 誠 氏

全老健団体保険制度加入施設における重大事故と全老健事故検討会の取組み

～不幸にして起きてしまった事故の分析と施設への助言・発信～

今年度の特別講演では、多角的な理解を深め、主体的に学べるようワーク形式で行われました。まず、座長の田中副会長が、重大事故例を取り上げ、ご本人の要因や家族の対応、介護者の対応、施設環境などの視点から詳しく解説。その後、参加者は数人ずつのグループに分かれてワークに取り組みました。

グループ内では、「転倒の前兆を見逃していたのではないか」「利用者が焦るような声掛けがあった可能性は？」といった意見が交わされ、資料を読み返しながら議論を深める姿も見られました。どのグループも多角的な視点で活発に意見交換を行い、学びを深めていました。

続いて、全国老人保健施設協会で事故検討担当委員を務める内藤医師が登壇。このケースでは施設側に一定の安全配慮義務があると判断し、ご家族と誠意を持って話し合うよう伝えました」と説明しました。その一方で、「転倒事故」とは必ずしも言えないと指摘し、2011年に日本老年医学会と全国老人保健施設協会が共同で発表した「介護施設内での転倒に関するステートメント」と紹介。

島戸弁護士は「歩行の安定性に関する記録は、訴訟になった場合の主要な争点になり得る。一貫した説明ができるよう、第三者の目に触れておくことが重要です」と述べました。

- 1 移乗介護支援ロボット使用での利用者や職員の負担軽減への取り組み
ケアセンター赤とんぼ 介護福祉士 兵頭 まどか
- 2 「孫の結婚式に参加したい」を叶えるために～フォレスト熊本のチームケア～
フォレスト熊本 作業療法士 原田 千穂
- 3 入所及び退所における訪問活動からチームアプローチに繋げた一事例
ぽたん園 理学療法士 宮本 朋美
- 4 排泄機能向上を目指して～骨盤底筋体操を取り入れて～
ゆうきの里 介護福祉士 貞富 雄一郎 優秀演題
- 5 「歯と口の教室」から得られた事～健口から健康、そして健幸へ繋げよう～
青翔苑 介護福祉士 山本 聖子
- 6 病院併設型老健での定期回診の効果についての検討
シルバーエイト 看護師 谷口 江美

- 1 老健の管理栄養士にできる地域支援～認定栄養ケア・ステーションの役割～
太陽 管理栄養士 田中 教子
- 2 地域における介護老人保健施設の役割～地域貢献活動を通してみえた当施設の役割と強み～
おおつかの郷 音楽療法士 立山 真由美
- 3 制服変更が職員の意識と利用者の満足度に与える影響～アンケート調査による実証研究～
清雅苑 介護福祉士 斎藤 巧
- 4 生産性向上にどう取り組む？～魅力ある職場づくりにむけて～
天草中央総合病院附属介護老人保健施設 支援相談員 萬谷 郁美 優秀演題
- 5 農業の原動力と福祉の可能性～「できる」を引き出す農福連携～
平成唯仁館 介護福祉士 榎本 祐太
- 6 介護サービスの質の維持・向上を目指して～急増する介護ニーズに対応したい～
ほんごう苑 介護士 筒井 健嗣

令和6年度 介護老人保健施設事業功労者

厚生労働大臣、全国老人保健施設協会会长並びに熊本県老人保健施設協会会长 表彰受賞者

◎厚生労働大臣表彰

ぽたん園 理事長 富島 三貴 様
リバーサイド御薬園 看護師 三川 紀子 様
リバーサイド御薬園 事務員 塩井 貴裕 様

◎全国老人保健施設協会会长表彰【個人表彰】

リバーサイド御薬園 作業療法士 多田 茜 様

◎熊本県老人保健施設協会会长表彰

ぽたん園 理学療法士 里井 宏之 様
ぽたん園 介護福祉士 屋田 貴史 様
清雅苑 理学療法士 畠利 賢一 様
青翔苑 介護福祉士 山本 聖子 様

2025年度の自分たちの目標を明確にしよう

講師：一般社団法人熊本県老人保健施設協会 会長

金澤 知徳

さあ2040年に向けて私たち老健はどうするか ～老人保健施設に期待されるもの～

冒頭、「国内での高齢化が急加速する今、私たちは何を期待されているのか」と問い合わせられた金澤会長。社会保障の流れをあらためて説明しながら、「私たちは、在宅セットアップ（医療施設と自宅をつなぐ中継ぎ）の役割をずっと求められ、これからも期待されている」と訴えられました。それを踏まえ、2040年に向けて意識するべき5つのポイントを挙げられました。

- 1. 在宅復帰・在宅支援機能の強化
- 2. 医療と介護の連携の深化
- 3. DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進
- 4. 介護人材の確保・育成
- 5. 地域包括ケアシステムの中核的役割の確立

特に地域とのつながりを深めることが重要であり、その一環として、施設の魅力を高めながらTQM・TQCの向上に取り組む必要があると指摘されました。各施設の事情を考慮しながら、これらの取り組みを継続的に実行していくことが、2040年問題の解決への一助となるのではないかと強調し、挨拶を締めくくられました。



令和6年度 中堅・主任者職員研修会

会場 熊本県医師会館 開催日 令和6年10月30日(水)・31日(木)

「中堅・主任者職員に求められているもの」をテーマとして、2日間にわたる研修会が行われました。



1日目



講義 「将来に向けた施設運営のあり方」

熊本県老人保健施設協会会長 金澤 知徳

老健が目指すべき姿を現状の課題と照らし合わせながら説明。「今後は、利用者や家族、地域の方々との丁寧な付き合いが大切になってくる」と締めくされました。



講義 「介護老人保健施設の運営基準」

なごみの里 事務長 西田 剛

根拠法規に基づく運営をはじめ、2024年4月1日より義務化された栄養・口腔管理、虐待の防止などを紹介されました。



講義 「部下の指導育成に活かすコーチング ～人を育てる聴き方、話し方～」

コーチングルームオフタイム マスター・ウェルネス・コーチ 芦村 恵氏

4~6人の14グループが、コミュニケーションとコーチングをワーク形式で学んだ。傾聴や承認も演習し、参加者からは「職場で活用したい」などの声が聞かれました。

グループワーク「1日目の講義を受けて」

～各施設で工夫している事～

【進行】研修企画委員会委員 今村 嘉宏

10グループに分かれ、30分間の振り返りを行いました。工夫している事よりも、「地域とのつながりを持つのは、簡単なようで難しい」との意見が多く出されました。

2日目



講義 「テクノロジーの活用による業務効率・生産性の向上について」

清雅苑 施設長 野尻 晋一

AIや介護ロボット、ICTなどの活用による生産性向上とLIFEアセスメントにおける独自の取り組み例を説明されました。最後は、最新テクノロジーの動画の紹介と倫理的課題を織り交ぜながら、90分の講義は終了しました。



講義 「実践！認知症高齢者のケア」

フォレスト熊本 総合ケアサービス部
通所リハビリテーション科長 高木 啓司

専門性の高い支援や認知症ケアができる人材の育成ポイント、パーソンドケア的なチーム構築、環境整備の重要性を訴えられました。「その人自身を見つめましょう」という言葉が印象的でした。



講義 「ハラスメントとメンタルヘルス」

認定医療法人 明和会 くまもと悠心病院
臨床心理士／公認心理師 林田 秀樹氏

各種ハラスメントの定義と対策を踏まえ、カスハラのひとつ「認知症高齢者による暴言・暴力」への要望などを伝えられました。また、ストレスチェックを行い、セルフケアを実践しました。

グループワーク「2日目の講義を受けて」

～研修全体での学びについて 各施設で工夫できること～

【進行】研修企画委員会委員 萩原 康平

9グループが所属施設の課題、悩みなどを話し合った後、発表が行われました。「認知症への対応が役立った」「テクノロジーをうまく使い、労力を減らしたい」などの意見が出ました。

講義 I 介護老人保健施設の理念と役割 (新しい仲間に知っておいてほしいこと)

熊本県老人保健施設協会副会長 鶴田 克家

講義 II 認知症高齢者の理解とケア

フォレスト熊本 総合ケアサービス部
通所リハビリテーション科長 高木 啓司

講義 III 身体拘束・虐待防止について

桔梗苑 介護主任 山下 範洋

講義 IV 老健における多職種協働について

リバーサイド御薬園 看護介護部長 三川 紀子

講義 V リハビリテーションケアについて

清雅苑 リハビリテーション部主任 畠利 賢一

講義 VI グループワーク 「仕事上の悩み・疑問点とこれからの目標」

(進行 研修企画委員)

業種ごとに数名ずつのグループに分かれ、日頃感じている悩みや疑問を出し合いました。「仕事のお願いの仕方が分からない」「移乗のコツを教えてほしい」など、さまざまな課題が挙げられ、それぞれのグループで解決策や今後の取り組みを話し合いました。

各班の発表後、進行役からは「自分たちでできることを考え、前向きに取り組んでいってほしい」とのエールが送られました。



熊本県老人保健施設協会会員施設一覧

熊本市

- ①清雅苑
- ②桔梗苑
- ③レ・ハビリス桜十字熊本東
- ④青翔苑
- ⑤阿房宮
- ⑥杏の里
- ⑦南楓苑
- ⑧光乃里
- ⑨ぎんなんの里
- ⑩湧心苑
- ⑪ケアビレッジ箱根崎
- ⑫ぽたん園
- ⑬白藤苑
- ⑭みづぐ苑
- ⑮のぞみ
- ⑯シルバーピア水前寺
- ⑰メディエイト鶴翔苑
- ⑱フォレスト熊本
- ⑲なすび園
- ⑳田迎ケアセンター
- ㉑ケアセンター赤とんぼ
- ㉒なでしこ
- ㉓かなこぎ苑
- ㉔葵の森
- ㉕コスモピア熊本
- ㉖第二コスモピア熊本

宇城

- ㉗青海苑
- ㉘あさひコート
- ㉙景雅苑
- ㉚なごみの里
- ㉛松幸

天草

- ㉜恵苑
- ㉝本渡ケア・ホーム
- ㉞臥龍園
- ㉟松朗園
- ㉞ブルーマリン天草
- ㉞ケアセンター鶴丸
- ㉞天草中央総合病院附属介護老人保健施設
- ㉞きららの里
- ㉞ほんごう苑
- ㉞ケーナ・ガーデン
- ㉞夢織りの里天草

玉名

- ㉛聖ルカ苑
- ㉜慈眼苑
- ㉝樹心台
- ㉞ゆうきの里
- ㉞清風苑
- ㉞星雲荘
- ㉞てんすい俱楽部
- ㉞幸

山鹿

- ㉜希望の園
- ㉝山鹿リハビリセンター
- ㉞太陽

菊池

- ㉜サンライズビル
- ㉝桜の里
- ㉞おおつかの郷
- ㉞ひらせ記念リハビリ苑
- ㉞孔子の里
- ㉞リハビリセンターきくちの里
- ㉞有隣

阿蘇

- ㉜阿蘇グリーンヒル
- ㉝愛・ライフ内牧
- ㉞おぐに老人保健施設
- ㉞リハセンターひばり

上益城

- ㉝彩雲苑
- ㉞ライフライト矢部
- ㉞御船清流園
- ㉞平成唯仁館
- ㉞ナーシングケア緑風苑
- ㉞ケアポート益城

八代

- ㉞ハ祥苑
- ㉞ハピネスケア日南
- ㉞向春苑
- ㉞リハリート桜十字八代
- ㉞かがみ苑
- ㉞とまと
- ㉞皇寿園

芦北

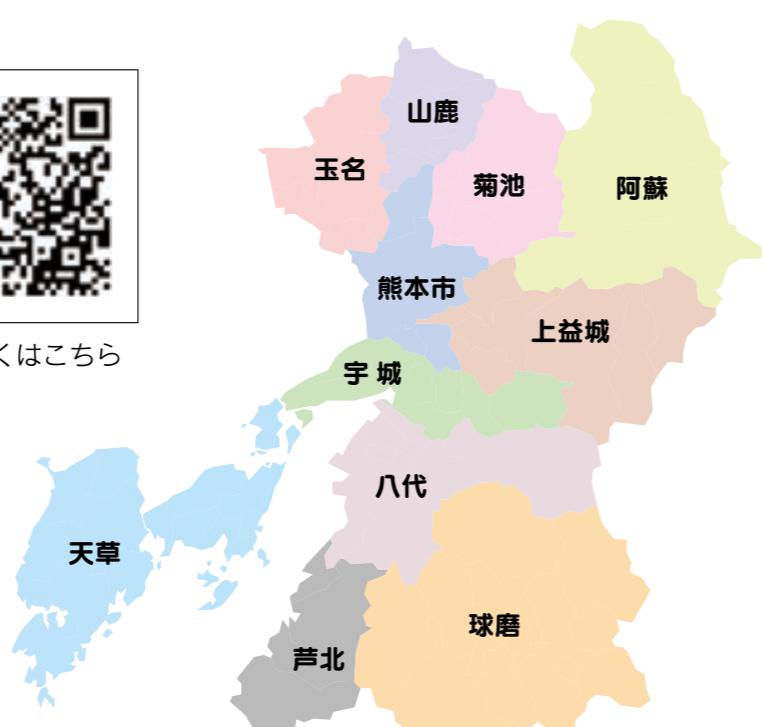
- ㉞やすらぎ苑
- ㉞白梅の里
- ㉞新清苑

球磨

- ㉞サンライフみのり
- ㉞リバーサイド御菴園
- ㉞つつじのさと
- ㉞シルバーエイト
- ㉞タンポポ
- ㉞愛生
- ㉞もみの木



▲詳しくはこちる



●は令和7年度ブロック代表者施設です。

役員名簿

会長	金澤 知徳	青翔苑 理事長
副会長	田中 素美	おおつかの郷 施設長
鶴田 克家	メディエイト鶴翔苑 理事長	
理事	山田 和彦	リバーサイド御菴園 代表
	荒瀬 一巳	ナーシングケア緑風苑 理事長
	保利 真理	希望の園 施設長
	藤岡 靖也	御船清流園 理事長
	水足 秀一郎	太陽 理事長
	富島 三貴	ぽたん園 理事長
	松下 和徳	白藤苑 施設長
	小田 哲也	景雅苑 理事長
	眞鍋 哲郎	白梅の里 理事長
	野田 賢之介	ケーナ・ガーデン 理事長
	松本 篤子	かがみ苑 施設長
	津野田 尚子	みづぐ苑 理事長
新任 芳賀 克夫	天草中央総合病院附属介護老人保健施設 施設長	
監事	上野 博久	ぎんなんの里 理事長
新任 河喜多 保典	公認会計士河喜多会計事務所 所長	

新役員ごあいさつ



芳賀 克夫 新理事

ぬくもりのある居場所を目指して

皆様、新たに理事に加えていただいた芳賀克夫(はがよしお)と申します。元々外科医でしたが、8年前に天草中央総合病院の院長として赴任しました。2年前から付属老健の施設長も兼任するようになりました。

さて、老健の業務ですが、なるべく療養棟に顔を出し、職員や利用者さんに声をかけるようになっています。当たり前のことですが、真心を込めて挨拶を行っています。やがて自分も利用者となる立場になるかもしれません。利用者さんを自分の父母のように慕い、孝行していくことを思っています。

協会の皆様には至らぬことが多いと存じますが、本会のお役に立てるよう全力を尽くして参ります。どうぞよろしくお願い致します。



河喜多 保典 新監事

地域に根ざした老健施設の発展に向けて

この度、本年6月開催通常総会において監事に選任いただき就任いたしました公認会計士の河喜多保典と申します。

今日の高齢化社会において、介護老人保健施設は高齢者が自立して生活でき在宅復帰するための役割を担い、住み慣れた地域社会で安心安全な生活ができるよう支援するなどその役割的重要性は増しているものと思います。

県内の老健施設の情報交換、職員教育・研修等を実施する当協会の活動もまた重要性が増しているものと思います。公益性の高い事業を実施する当協会の監事として、会員の皆様方のご指導ご鞭撻を賜りその職務を果たしてまいりたいと存じます。何卒宜しくお願い申し上げます。

[老健職員に向けた応援歌をみんなで作ろう]プロジェクト

“九州ブロック老健大会with熊本”をきっかけに立ち上がった本プロジェクト。大会会長による作曲のもと、プロジェクトメンバーの協力を得て、応援ソング「踊ろうけん」が完成しました。この曲には、九州ブロックの皆さまとともに今大会を盛り上げたいという思い、そして日々懸命に働かれている老健施設の皆さまへの応援の気持ちが込められています。



踊ろうけん

グッモーニンおはよう元氣かい

そんな顔してどうしたの

それよりこっちに来てみたら

恥かいたつてくじけたつていいじゃないのさ

ぼくらにはコレがある

自由にえがける夢がある

ぼくらには君もいるだから

みんなが仲間ささあ踊ろうよルルンルン(アローケン)

肩まわして手挙げ脚ならして踊ろうよ

肩まわして手挙げて脚ならしてさあ踊ろ

グツモーニンおはようありがとう

あれからあの人よかつたよ

そしたらうちも元気もらつてね

困つたつてぶつかつたつて何とかなつたよ

ぼくらにはコレがある

あなたに届ける声がある

ぼくたちは響き合うだから

みんなが仲間ささあ踊ろよルルンルン(アローケン)

肩まわして手挙げて脚ならして踊ろよ

肩まわして手挙げて脚ならしてさあ踊ろ(ローケン)

そうさ
ぼくらにはコレがある

自由にえがける夢がある

ぼくらには君もいるだから

みんなが仲間ささあ踊ろよ

ぼくらにはコレがある

あなたに届ける声がある

ぼくたちは響き合うだから

みんなが仲間ささあ踊ろよルルンルン(アローケン)

肩まわして手挙げて脚ならして踊ろよ

肩まわして手挙げて脚ならしてさあ踊ろ

肩まわして手挙げて脚ならして踊ろよ

肩まわして手挙げて脚ならしてさあ踊ろ

肩まわして手挙げて脚ならして踊ろよ

肩まわして手挙げて脚ならしてさあ踊ろ



老健協会ホームページ
<https://kumamoto-roken.or.jp/>

follow me
はじめました
Instagram

一般社団法人熊本県老人保健施設協会の
公式SNSを開設しました
皆様、フォローをよろしくお願いします

編 集 後 記

●平成23年から県老健協の委員として活動させて頂きましたが、この度令和7年3月を持ちまして委員を終了いたしました。活動中は様々な体験や学びがあり充実した日々を送らせて頂き有難うございました。(後藤 健)

●毎年にわたって広報委員長を務められた後藤さんに感謝いたします。この度その後任として広報委員長を拝命しました。還暦を過ぎておりますが、若い方たちに最新の情報を教えてもらいながら情報発信に努めてまいります。よろしくお願いいたします。(古澤 浩幸)

●広報委員を拝命いたしまして3年目となりました。不慣れなこともございますが、精一杯務めさせていただきます。後藤前委員長、長い間お疲れ様でした。フレッシュなメンバーで広報を支えていきます。宜しくお願ひいたします。(田中 教子)

●第24回九州ブロック老健熊本大会は様々な形で貢献された皆様大変お疲れ様でした。広報委員として2年が経過し智恵より汗が多く出ているところですが、皆様とともに老健存続のために努めてまいりたいと思います。よろしくお願ひいたします。(西 淳亀)

●この度、広報委員を拝命いたしました、ぎんなんの里支援相談員中西ひとみと申します。微力ではございますが会員の皆さまを繋ぐ架け橋となるよう心を込めて取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。(中西 ひとみ)

●この度、広報委員として活動することになりました、ぼたん園の屋田貴史です。介護の魅力を「ろうけん熊本」から発信できるよう努めてまいります。どうぞ宜しくお願ひいたします。(屋田 貴史)

広報委員 古澤 浩幸（湧心苑） 田中 教子（太陽） 西 淳亀（南楓苑）

中西 ひとみ（ぎんなんの里） 屋田 貴史（ぼたん園）

印刷：シモダ印刷株式会社

【広報委員募集中！】